

実証成果 (株) さめきベジファーム (香川県 さめき市)

実証参加教育機関 香川県立農業大学校



実証課題名 狭小な水田における秋冬露地野菜省力生産技術の実証

経営概要 26.3ha(キャベツ7ha、ブロッコリー5ha、葉ネギ11ha、ニンニクほか3.3ha)
うち実証面積:キャベツ4ha、ブロッコリー3ha、葉ネギ(トンネル栽培)3ha

導入技術 ①直進アシスト機能付きトラクターを利用した圃場準備の多工程同時作業
②GNSS自動操舵 乗用型防除機による省力防除



【作業機の詳細】
・超碎土成型ロータリー(上面マルチキット仕様)
・GPS車速連動施肥機



目標 圃場準備の作業時間36.8%削減、防除の作業時間62.5%削減、現場実習、座学を受講した県立農業大学の学生等のうち、スマート農業技術の基本的知識を有する者の割合100%

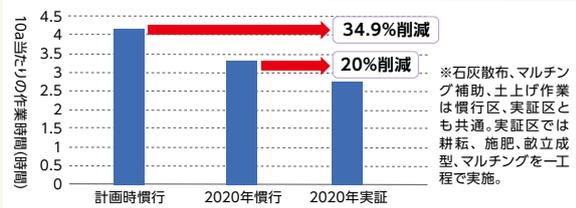
1 実証成果の概要

○直進アシスト機能付きトラクターを利用した圃場準備の多工程同時作業、GNSS自動操舵乗用型防除機により、圃場準備と防除に係る作業時間をそれぞれ34.9%、73.5%削減した(計画時慣行対比)。

2 導入技術の効果

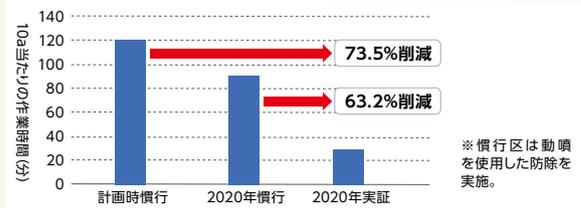
直進アシスト機能付きトラクター

●圃場準備作業では、作業時間が34.9%削減(4.08時間/ha → 2.66時間/10a) ※令和3年1月時点



GNSS自動操舵乗用型防除機

●防除作業では、作業時間が73.5%削減(2時間/10a → 0.53時間/10a) ※令和3年1月時点



3 人材育成の効果(参加した学生の声)

- 担い手養成科の学生34名、技術研修科の研修生9名が、スマート農機による生産現場実習等により、スマート農業の基礎知識や活用事例、今後の展望等について学んだ結果、スマート農業技術の基本的知識を有する者※は41名(95.3%)となった。※筆記試験を実施し、農業大学校における単位取得相当の得点を得た者
- スマート農機を利用すると、正確かつ効率的な作業が行える。常に情報を収集して就農後の経営に生かしたい。(学生の声)



4 今後の課題・展望

- 狭小な圃場の枕地への植付けを無くし、畝立て方法を工夫する等により、圃場準備を効率化することで更なる作業時間の短縮を図る。
- 規模拡大等によりスマート農機を効率的に利用できる圃場面積を増やし、経営全体の農作業に積極的に活用することで、スマート農機の利用率を上げ、実質的なコスト低減に繋げる。
- これまで以上に生産現場と連携して学生等へのスマート農業の実践的研修を実施し、即戦力の人材育成に努める。

問い合わせ先

香川県農政水産部農業経営課 普及・研究グループ(e-mail:noukei16300@pref.kagawa.lg.jp)
香川県東讃農業改良普及センター 園芸部門(e-mail:tosannokai@pref.kagawa.lg.jp)